



グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、1期に引き続き、令和3年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。SDGsの達成に向けて科学技術イノベーションを担う生徒の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

マルチサイエンス I (2年生 課題研究) 研究経過報告会

7月7日に課題研究の経過報告会を行いました。講座ごとに、テーマ設定の理由や研究手法の説明を中心に、これまでの取組を発表しました。他の班の発表を聞き、質疑応答の場面も活発なやり取りが見られました。いくつかの班の発表の様子を紹介します。

国語 「世代ごとに変わる数え歌の軌跡を追う！
～伊予西条篇～」

2年2組 高橋 琉菜 さん
伊予西条の中でも、数え歌の歌詞が違うことに注目しました。様々な世代の方にインタビューを行い、変化の過程を調べます。報告会は、自分たちの発表で至らない点を自覚できる良い機会となりました。



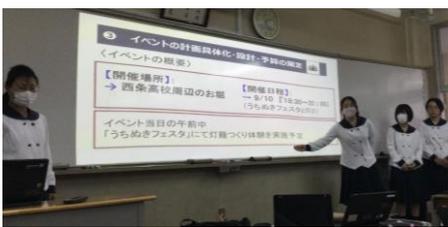
理科 「蚕で知る免疫」

2年4組 國田 葵衣 さん
人間と同じ自然免疫を持つ蚕を用いた実験を行い、免疫を活性化させる物質を特定する研究を行います。報告会では、どの班も工夫を凝らしていました。質疑応答では、全員が質問に答えようとしており、今後に向けて、とてもよい刺激を受けることができました。



取材・文：新聞部

芸術



地歴・公民



有法子 (1年生) クラス発表会

7月13日に経済・社会をテーマにクラス発表会を行いました。課題設定から研究手法を提示するところまでを班でポスターにまとめて、発表を行いました。発表を繰り返すごとに要領をつかみ、ユーモアを交えながら話を進めていく姿や、班で協力して質問に答える姿が見られました。発表の様子と生徒の感想を紹介します。

テーマ「西条市街の活性化」

リサーチクエスチョン
商店街の活性化
・現在から未来へ
・地域全体で
・商店街が楽しくなっているから

課題設定の理由
商店街の活性化は人口の増加と経済の活性化の二つに繋がると考えたから

仮説
幅広い年齢層を対象とした事業的取り組みが多くなると思われる

研究計画
小和高校の校内調査

テーマ「バリアフリーマップ」

リサーチクエスチョン
バリアフリー化が進み高齢者も人口は増加しているのに対し、高齢人口は増加している。

課題設定の理由
西条市の人口は減っているのに対し、高齢人口は増えているので高齢人口の暮らしやすさを向上させる必要がある。

仮説
バリアフリー化を進め、高齢者の暮らしやすさを向上させる。

研究計画
①西条市のバリアフリーマップを作成する
②作成されたマップを調査する
③調査結果に基づき、高齢者の暮らしやすさを向上させるための施策を提案する



1年5組 白雪 愛紗 さん
班員全員が積極的に考えました。リサーチクエスチョンから研究計画・結果の発表をして、スムーズに理解することができました。西条市をこれからも住みやすい町とすることを目指して、研究していきたいです。

1年3組 山内 一花 さん
発表を聞いてもらい、質疑応答を行うことで、新たな問題や課題を見つけることができました。同じデータを分析していても、自分たちとは全く違う視点で考察している点が、面白かったです。